

要約書

本発明の発光装置は、発光素子と、この発光素子から発せられる光強度を検出するための光センサとを有し、発光素子は、基板上に、下電極、少なくとも発光層を含む発光材料層および透光性を有する上電極を順次有し、下電極と上電極はどちらか一方が陰極で他方が陽極であり、光センサが発光素子上に形成されている。

発光輝度むらと色バランスの崩れが十分に抑制され、しかも、発光素子から発せられる光を効率よく光度センサに導くことができるので素子の発光の強さを感度よく検出でき、また、発光素子と光度センサとが悪影響を及ぼし合うことが少ない発光装置が実現される。